

令和4年度 林野庁補助事業
「林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証事業」
の事業実施者を決定

■ 本事業の趣旨

林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証として、

- ① 木材生産や造林作業の安全性向上、省人化を図る伐採・集材・運材及び造林作業の自動化・遠隔操作化機械、林内通信技術、自己位置推定技術、マシンガイダンス等の先端技術等を活用した機械・新技術の開発・実証
- ② 先進的林業機械を活用し、機械の自動化や遠隔操作技術を向上させるとともに、当該機械を中心とした事業規模での作業システムの実証、現場の実情に応じた機械等の改良に対する取組

を支援する。また、開発・実証で得られた結果の分析・評価を行い、その普及を図る。

林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証事業 実施者とテーマ

事業実施者	実証等のテーマ
松本システムエンジニアリング(株)	立体視映像装置・シンクロ式アシストウインチを備えたラジコン式伐倒作業車の開発・実証
(株)NTT ドコモ (株)筑水キャニコム 阿蘇森林組合	通信型下刈機械の遠隔自動運転・運行監視システムの開発・実証
住友林業(株)、 日本キャタピラー合同会社 (有)天女山	日本版ウインチアシストシステムの事業規模での実証と改良